

九州支部

長崎県部会

7月3日九州支部総会の報告を兼ねて県部会総会を開催しました。

青山学院市区長会議(青学卒で全国で市長・区長として活躍の皆さまが集う会)に出席された会員のご主人様から青学グッズのお土産をたくさんいただき、皆でくじ引きをして盛り上がりました。

鹿児島県部会

50 E 吉村ひさ子(岩政)
昨年は校友会鹿児島県支部の活動もなく、なかなか集まる機会がありませんでした。

鹿児島県部会では、毎年1月最終日曜日に新年会を開催しております。毎回20名程が集まり楽しい時間を過ごしています。同窓会で集まる機会が少なくなっている中で貴重な会となっております。

宮崎県部会

45 J 上船 広子
昨年度は九州支部総会開催に向けて打ち合わせ会、会場下見などをして準備に備えました。先生方や同窓会本部、各県部会の方々の協力のおかげで無事開催できましたことを感謝申し上げます。

佐賀県部会

51 H 児玉 恭子 (金丸)
昨年3月9日県部会総会を4名でしたが開催して、これからの支



部活動の維持継続等話し合いました。だんだんと年を重ね、催しの参加も大変になってきた状態です。どうにか継続していける方法を皆で模索しております。

福岡県部会

43 H 松本 祥子(南里)
昨年3月13日「ホテルニューオオタニ博多グリーンハウス」にて県部会開催。参加19名チャペルにて礼拝を行いました。讃美歌を歌い主の祈りを唱え、年代はそれぞれ違いますが学生時代を思い出し厳かな気持ちになりました。ランチをいただきながらお互いの近況を語りやはり箱根駅伝の青学優勝の話で盛り上がりました。

大分県部会

54 E 牧野裕規子
毎年4月県部会総会を開催しわずかな時間ですが青春時代にタイムスリップし、楽しかった学生時代に戻って盛り上がりつつあります。従来より支部総会等のお誘いは往復ハガキを会員全員に出していましたが、皆さまの意見を伺いながら改善していくようにしていきたいと思っています。

熊本県部会

49 H 上尾くるみ(姫野)
昨年4月5日県部会総会を「ホテル日航熊本 桃李」にて7名で開催しました。2026年度の九州支部総会の担当のため企画等打ち合わせの会合も多くなりました。熊本の素敵なところを皆さまに知っていただきたく皆で策を練っています。

55 J 荒尾 晃代(奥村)

台湾支部

2025年度台湾支部総会は、猛暑日の9月に台北市にて開催いたしました。

今回は「学生時代の青短や渋谷の風景、現状」をまとめたDVDを皆さまにお渡ししました。

この総会に出席できたことは、とても貴重で感動的な経験でした。先輩や後輩が、教育環境、人生のステージ、そして人生の節目も異なるままに集い、母校という深い絆で結ばれていました。交流の中で、青短の精神が世代を超えて受け継がれ続けていることを実感し、教育が人生にもたらす深い影響について改めて考えるきっかけとなりました。

総会では、皆さんがキャリア開発、人生の選択、そして自己成長に関する経験を分かち合いました。このことは、長年培ってきた知恵を示すだけでなく、若い世代にインスピレーションと励ましを与えました。皆さんの話を通して、様々な時代が直面する課題と機会を目の当たりにし、それぞれの世代がそれぞれの環境で前進しようとする努力していることをより深く理解することができました。

この共有は、経験の継承だけでなく、精神と姿勢の継承でもあると同時に、同窓会の重要な役割



割を改めて認識することができました。これは、感情を繋ぐプラットフォームであるだけでなく、世代を超えた交流の架け橋でもあります。互いに知り合い、交流することで、異なる学年の卒業生同士がより深い友情を築き、同窓会ネットワークは拡大し、深化を続けています。

同窓会は、単なる集まりではなく、温かく意義深い交流の場となります。私は同窓生としてのアイデンティティをより一層大切にし、将来どこにいても母校で育まれた精神を守り、時宜を得た恩返しをし、次の世代に伝えていくことで、この友情と価値が長く続くようにと、改めて思いました。

今回の集会場所は「青山珈琲」のカフェを選びました。今回初めて参加の方もいらして、会話が始めると、温かく感動的な時間が流れ、何年も会っていない同級生や先輩後輩が懐かしい笑顔と笑い声に、学生時代へと瞬時に引き戻されました。この会は、思い出の積み重ねであると同時に、かけがえのない友情の継続でもありました。

あつという間の笑顔の絶えない楽しい時間でした。感謝の気持ちでいっぱいになり、次の再会を心から楽しみにしています。今後とも皆さまの温かいご支援をよろしくお願いたします。

平7日 何 恵琴